

# Istanbul Weekly vol.7-no.3

## イスタンブールウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2018年1月26日（金）

### — 今週のポイント —

- 政治：**トルコ軍、シリア北部アフリン地域に侵攻：与野党の反応。  
エルドアン大統領、トランプ米国大統領と電話会談。
- 経済：**消費者信頼感指数、上昇。  
EU からトルコへの株式投資額、64.3%増。
- 治安：**YPG 及び PKK のプロパガンダを行った容疑者 23 名がイスタンブール等で拘束。  
警察がイスタンブールでアフリンのオペレーションに対する抗議集会を計画していた容疑者 13 名を拘束。  
イスタンブールにシリア難民 53 万 8 千人が居住。
- 軍事：**ユルドゥルム首相が「オリーブの枝作戦」の開始を発表。  
トルコ軍が「オリーブの枝作戦」により武装勢力 303 名以上の無力化を発表。
- 社会：**トルコ語教育ポータル、利用者は一年未満で約 10 万人に。  
貯水率 70%を超える。

### 政治

#### ●トルコ国内における自由度の低下：CHP、国会に調査を要求

米国のシンクタンク「フリーダム・ハウス」による「2018 年世界の自由度報告書」において、トルコが「部分的に自由な国」から、「自由がない国」のカテゴリーに転落したことが明らかになった。これを受け、CHP は国会に対し、国内における政治的権利や報道の自由などに関する調査を要求した。同報告書で、「自由がない国」とされた国は、調査対象全 195 か国中、トルコを含めて 49 か国。（1月19日付 M 紙 17 面）

#### ●エルドアン大統領、トルコの三権の代表と晩餐会を実施

18 日、エルドアン大統領の主宰で、立法・行政・司法の代表者の晩餐会が実施され、ユルドゥルム首相、カフラマン国会議長、アルスラン憲法裁判所長官を始めとする、11 人の三権の代表者が出席した。同晩餐会では、主にアフリンへの軍事オペレーション、非常事態宣言下の法令（KHK）及び国会内規の改正等が話題となった。（1月19日付 H 紙 19 面）



（写真は、1月18日付 H 紙インターネット版より）

#### ●AKP、国会内規の改正を審議するための小委員会を設立

19 日、エリタシュ AKP 院内総務の主宰で、AKP が、国会内規改正の調整を審議するために設立した国家承認委員会の小委員会の初会合が実施された。同小委員会メンバーは、党の執行部、国会議員や研究者で構成される。同小委員会では、世界各国の議会の内規の例も調査される。（1月20日付 M 紙 15 面）

#### ●トルコ軍、シリア北部アフリン地域に侵攻：与野党の反応

(1)21 日、エルドアン大統領は、AKP ブルサ県女性支部会合で、北シリアでトルコ軍が開始した「オリーブの枝」作戦について、米国はこれまで PKK や PYD-YPG に武器提供を行っていたと批判し、同作戦の目的は、トルコにおける 350 万人のシリア人を帰還させることであると述べた。

(2)同日、テズジャン CHP 報道官は、トルコ軍は重要な作戦を実施したと述べ、同作戦への支持を表明した。一方で、HDP は、同作戦に反対の姿勢を示している。3 人の HDP 議員が、SNS に同作戦を非難する発言を投稿したことに対し、共和国検事は「市民に対する恨みと敵意への扇動」罪による捜査を実施した。（1月22日付 H 紙 16 面及び M 紙 16 面）

#### ●インジェ議員、CHP 党首選への立候補を表明

22 日、インジェ議員（ヤロヴァ県選出）は、2月3日及び4日に実施される CHP 定期党大会における党首選への立候補を表明した。同議員は、既に党首立候補のために必要な推薦数を集めたことを強調し、党首選への意欲を示した。（1月23日付 M 紙 17 面）



(写真は、1月22日付S紙インターネット版より)

#### ●エルドゥラム首相、クルチダルオール CHP 党首と会談

22日、エルドゥラム首相は、首相官邸でクルチダルオール CHP 党首と会談した。会談でエルドゥラム首相は、クルチダルオール CHP 党首に、オリーブの枝作戦に対する CHP の支援に対し感謝を述べつつ、PYD-YPG の活動やユーフラテスの盾作戦及びオリーブの枝作戦に関する情報が記載されたファイルを提示した。(1月23日付M紙17面)



(写真は、1月23日付M紙インターネット版より)

#### 【外交】

#### ●チャヴシュオール外相、ジャアファリー・イラク外相と会談

21日、チャヴシュオール外相は、バグダットで、ジャアファリー・イラク外相と会談した。会談後の共同記者発表で、チャヴシュオール外相は、トルコはイラクの最大の支援者であり、今後もイラクの領土の一体性への支援を継続していくと述べ、テロリストの掃蕩の重要性を強調した。(1月22日付M紙14面)



(写真は、1月22日付M紙インターネット版より)

#### ●エルドアン大統領、露・仏首脳と電話会談

23日、エルドアン大統領は、プーチン露大統領と電話会談を実施した。会談では、主に二国間関係や、オリーブの枝作戦を始めとしたシリアの状況が協議された。同日、エルドアン大統領は、マクロン仏大統領とも電話会談を実施し、同会談でも、オリーブの枝作戦やシリアの最新の状況について協議した。(1月24日付M紙18面)

#### ●チャヴシュオール外相、ティラーソン米務長官と会談を実施

23日、チャヴシュオール外相は、仏で実施された外相会合の際に、ティラーソン米務長官と会談した。会談では、主にオリーブの枝作戦について協議された。(1月24日付M紙18面)



(写真は、1月23日付Yeni Safak紙より)

#### ●エルドアン大統領、トランプ米国大統領と電話会談

24日、エルドアン大統領は、トランプ米国大統領と電話会談を実施し、主にシリア問題やテロとの闘いについて協議した。エルドアン大統領は、トランプ米国大統領に対し、米国はPYD-YPGに対する武器支援を終わらせなければならないと批判した。また、エルドアン大統領は、オリーブの枝作戦は、国際法に基づき正当防衛の権利に従って実施していると述べた。(1月25日付M紙16面)

#### 経済

#### 【マクロ経済】

#### ●チャクラバルティ EBRD 総裁、トルコの政治情勢の安定の重要性を強調

18日、チャクラバルティ欧州復興開発銀行 (EBRD) 総裁は、トルコは外国人投資家をトルコに呼び込もうとしているが、そのためにはより安定した政治情勢が必要であると述べた。また、同総裁は、EU とトルコは引き続き貿易及び経済の主要パートナーであり、EU はトルコの輸出額のほぼ 50%、外国直接投資額の 75% を受け入れていると述べた。(1月19日付 HDN 紙1面及び11面)

#### ●EBRD とトルコ、2,500 万ユーロの協力基金を開設

19日、チャクラバルティ欧州復興開発銀行 (EBRD) 総裁はシムシェツキ副首相との間で 2,500 万ユーロの協力基金を開設する覚書に署名した。トルコは、財務省を通じて EBRD 主導で実施されるプロジェクトに資金を融資する。(1月19日付 HDN インターネット版)

#### ●消費者信頼感指数、上昇

23日に公表された中央銀行とトルコ統計庁 (TUIK) の共同報告書によれば、1月の消費者信頼感指数は、昨年12月の65.1ポイントから11.1%上昇し、72.3ポイントであった。同指数の上昇は2017年7月以来初めて。

(1月24日付 HDN 紙11面)



(写真は、1月23日付 HDN 紙インターネット版より)

#### ●EU からトルコへの株式投資額、64.3%増

23日、トルコ経済省は、昨年1月から11月までの期間に EU からトルコへ株式投資された額は対前年同期比 64.3%増の約 45 億米ドルとなったと発表した。この EU による株式投資額は、同期間のトルコへの全株式投資額約 66 億米ドルの 68% に当たる。同省によると、主な投資国及び投資額はオランダの 16.4 億米ドル、オーストリア 3.06 億米ドル、ドイツの 2.34 億米ドルであった。(1月25日付 HDN 紙10面)



## 【経済政策】

## ●KGFとトルコ財務省、中小企業支援に550億トルコリラを準備する覚書を締結

22日、信用保証基金(KGF)とトルコ財務省は、主に製造業と輸出産業の成長を促すため、550億トルコリラ(うち50億トルコリラは返済金)の利用計画に係る覚書を締結した。2017年3月、政府は従来貸付けが行われてこなかった中小企業に対するKGFの貸付保証額の規模を2,500億トルコリラにまで拡大し、これによって銀行貸出が大幅に増加した。(1月23日付HDN紙10面)

## 【労使関係】

## ●自動車、白物家電及び鉄鋼部門の労働組合、2月2日にストライキ開始予定

自動車、白物家電及び鉄鋼部門の13万人以上の労働者を代表するトルコの3労働組合は、2月2日にストライキを開始する予定。これらの組合は雇用主協会のメタル・インダストリアルズ・ユニオン(MESS)との団体労働契約が合意に達しなかった場合に、ストライキに入る。MESSの労働者への提案には3年間の賃金6.4%の引上げ、社会保障費の12.8%の増額が含まれていたが、この提案を1月12日に労働者及び労働組合は拒否した。(1月25日付HDN紙1面及び10面)

## 【企業等の動き】

## ●トルコの有機食品輸出、躍進

23日、セレブ・エーゲ海地域・ドライフルーツ製品輸出業者協会(EKMID)会長は、2017年のトルコの68か国への有機食品輸出額は対前年比17%増の8,700万米ドルとなり、輸出量も同10%増の2万1,000トンとなったことを発表した。同会長によると、トルコからの最大の有機食品輸入国はドイツで、米国、フランスがこれに続いた。(1月24日付HDN紙11面)



(写真は、1月23日付HDN紙インターネット版より)

## ●トルコのボトル入り飲料水、世界110か国に輸出

22日、カラメフメトオール・パッケージ水製造業者協会(SUDER)役員は、トルコのボトル入り飲料水の同国の市場での年間販売量は110億リットルを超え、販売額は50億トルコリラ(13.1億米ドル)に達しており、世界110か国に輸出されていると述べた。また、同役員は、トルコの水は特にヨーロッパ諸国や湾岸諸国で好まれており、現在、中国及びインドの市場への参入も検討していると述べた。(1月23日付HDN紙10面)



(写真は、1月22日付HDN紙インターネット版より)

## 治安

## 【ISIL関係】

## ●メルスィン県でISILメンバー2名を拘束

19日、治安当局は、先週、トルコ中部で拘束したISIL幹部の証言により、メルスィン県において車両爆弾テロを企図していたISIL容疑者2名を特定し、拘束した。(1月19日付S紙インターネット版)

## 【PKK/YPG関係】

## ●YPG及びPKKのプロパガンダを行った容疑者23名がイスタンブール等で拘束

21日、アンカラ検察庁は、アンカラ、ヴァン、ディヤルバクル、マルディン、ムシュ、イスタンブールの各県において、ソーシャルメディアでYPG及びPKKを支援する投稿を行った数十名に対する捜査を開始した。また、23日、警察は、トルコ各地でYPG及びPKKのプロパガンダを行ったとしてHDPのイズミル県議長を含む容疑者23名を拘束した。(1月24日付HDN紙3面)

## ●イスタンブール検察庁がアフリンのオペレーションに反対するプロパガンダを行った容疑者57名の捜査を開始

20日、イスタンブール検察庁は、ソーシャルメディアで、トルコ軍によるアフリンでのオペレーションに反対するプロパガンダを行ったとして容疑者57名に対する捜査を開始したと発表した。(1月23日付HDN紙4面)

## ●ハタイ県でYPGの犯行と見られる爆発が11件発生

21日、アタ・ハタイ県知事は、同県内において、午後3時から4時の間に6回、午後6時40分に5回の爆発があったと発表した。9件は市街地で発生し、2件は郊外であった。一連の爆発により、1名が死亡、46名が負傷し、車両15台、家屋4棟等に被害が生じた。同知事は、アフリンのYPGによる犯行と見られると述べた。(1月23日付HDN紙3面)



(写真は、1月23日付HDN紙インターネット版より)

## ●ハタイ県にYPGがアフリンから発射した迫撃砲が着弾

22日、治安筋は、YPGがアフリンから発射した迫撃砲がハタイ県に着弾し、1名が死亡、2名が負傷したと発表した。(1月22日付HDN紙インターネット版)



(写真は、1月22日付HDN紙インターネット版より)

## ●キリス県とハタイ県にシリアからのロケット弾が着弾

23日、治安筋によると、シリアから発射されたロケット弾がキリス県とハタイ県に着弾した。いずれも負傷者はいなかった

が、キリス県では、建物と車両に被害が生じた。(1月23日付 HDN 紙インターネット版)



(写真は、1月23日付 HDN 紙インターネット版より)

### ●アフリンから発射されたロケット弾がキリス県のモスクに着弾

24日、礼拝時間帯にアフリンから発射されたロケット弾がキリス県のモスクに着弾し、2名が死亡、6名が負傷した。(1月24日付 HDN 紙インターネット版)



(写真は、1月24日付 HDN 紙インターネット版より)

### ●警察がイスタンブールでアフリンのオペレーションに対する抗議集会を計画していた容疑者13名を拘束

21日、警察は、イスタンブールのアジア側でトルコ軍によるアフリンでのオペレーションに対する抗議集会を計画していた容疑者13名を拘束した。11名が刑務所に収監され、2名が観察処分で釈放された。(1月25日付 HT 紙 20面)

### 【その他】

#### ●2017年中、イスタンブールで単独被疑者の武器使用犯罪が351件発生

ウムト財団の調査によると、2017年中、トルコ国内において単独被疑者の武器使用事件が2,494件発生し、2,187名が死亡、3,529名が負傷した。発生率は、前年比で28パーセント、前々年比で61パーセント増加しており、マルマラ地域では、イスタンブールで351件、ブルサで116件、コジャエリで108件、サカリヤで70件、テキルダールで38件が発生した。(1月23日付 HDN 紙インターネット版)



(写真は、1月23日付 HDN 紙インターネット版より)

#### ●イスタンブールにシリア難民53万8千人が居住

ハジェテペ大学の調査によると、現在、トルコには、340万人のシリア難民が居住しており、県別では、イスタンブールに53万8千人(同市人口の3.63パーセント)、シャンウルフアに46万3千

人、ハタイに45万7千人、キリスに13万2千人となっている。トルコ国内の難民キャンプ(21か所)には、22万8千人が居住している。(1月18日付 HDN 紙インターネット版)



(写真は、1月23日付 HDN 紙インターネット版より)

### 軍事

#### ●トルコ軍がアフリンで空爆を開始

21日、トルコ軍は、20日からアフリンで空爆を開始し、21日までに153か所の標的を破壊したと発表した。米国が YPG に武器を供給していたメナガ空軍基地に対しても空爆が行われた。(1月21日付 HDN 紙インターネット版)

#### ●ユルドゥルム首相が「オリーブの枝作戦」の開始を発表

21日、ユルドゥルム首相は、トルコ軍がアフリンにおいて自由シリア軍と合同で「オリーブの枝作戦」を開始したと述べた。同作戦は、4段階からなり、30キロの安全地帯の確立を目的とするものである。(1月21日付 HDN 紙インターネット版)



(写真は、1月21日付 HDN 紙インターネット版より)

#### ●トルコ軍が「オリーブの枝作戦」により YPG 戦闘員 260 名以上を無力化

23日、トルコ参謀本部は、「オリーブの枝作戦」が国連憲章第51条に基づく正当なものであることを強調した上で、同作戦が開始されてから YPG 戦闘員 260 名以上を無力化し、トルコ兵 3 名が殉職したと公表した。(1月24日付 HDN 紙インターネット版)



(写真は、1月24日付 HDN 紙インターネット版より)

#### ●トルコ軍が「オリーブの枝作戦」により武装勢力 303 名以上の無力化を発表

25日、トルコ軍は、武装勢力 303 名以上を無力化し、PKK 及び YPG の武器庫、シェルター、弾薬庫を破壊したと公表した。(1月25日付 HDN 紙インターネット版)



### ●トルコ、ロシア、イランが PYD のシリア国民対話会議不参加で合意

外務省筋によると、トルコ、ロシア、イランは、ソチで開催されるシリア国民対話会議に PYD を招待しないことで合意したと述べた。ロシアは、同会議参加予定者約 1,600 名に対する招待状の送付を開始した。(1月23日 HDN 紙 9 面)

## 社会

### ●イエニモスクの修復作業進む

エミノニューでイスタンブールのシンボリック建造物のひとつであるイエニ・モスク(築 355 年)の修復作業の半分が終了した。海風と排気ガスの影響で傷みの激しい外装と共に、内装のタイルや木製の建具などの修復作業が丁寧に進められている。(1月19日付 HT 紙 21 面他)



(写真は、1月19日付 H 紙インターネット版より)

### ●トルコ語教育ポータル、利用者は一年未満で約 10 万人に

20 日、トルコ語を学ぶ人に対して遠隔言語教育ポータルを運営する「ユヌス・エムレ研究所」は、同ポータルが、昨年 2 月の開設以来、エジプト、シリア、サウジアラビア、イラク、アルジェリア、エクアドル、チュニジア、モロッコ、ヨルダン、イエメン、米国、ドイツ等 159 か国のユーザー約 10 万人に利用されたと発表した。同研究所は、このサービスにより、トルコと他国との友好関係を深め、文化交流を促進することを目指している。(1月22日付 HDN 紙 11 面)

### ●マンホール、死亡事故の原因となる

アナトリア地方検察庁は、昨年 11 月にカドウキョイ区で発生した交通死亡事故の原因が、路面から突出した状態で放置されたマンホールにあったとしてイスタンブール市と、カドウキョイ区に責任の所在について調査を要求した。事故当時、現場には注意を促す標識などは無かったため、交通安全の管理問題が指摘されている。(1月22日付 HT 紙 21 面他)

### ●バージュラル区、薬物中毒の若者 301 人を救う

バージュラル区が取り組む薬物中毒者の厚生事業が、この 3 年間で 301 人の薬物中毒の若者を救うことに成功した。薬物に侵された若者たちは区の公立病院でリハビリと心療治療を受けた後、学業に復帰したり、地区の職業訓練センターで技術を学んだりしている。また、同区はこれらの若者から薬物中毒に陥るきっかけや環境を調査し、今後の対策に役立っている。(1月22日付 HT 紙 21 面他)

### ●2017 年の気候の変動

アメリカ航空宇宙局(NASA)と欧州中期予報センターが運営するコペルニクス気候変動サービスは、2017 年が世界的に記録史上 2 番目に暑い年であった事を発表した。また同サービスの調査によると、去年 1 年間のイスタンブール市の平均気温は 16.2 度で、同市のそれまでの平均気温より 2.4 度高かった事が分かった。(1月23日付 H 紙 4 面他)

### ●貯水率 70%を超える

イスタンブールにある 10 の貯水池の貯水率は 1 月中旬以降続く雨の影響で 70 パーセントを超えたことが分かった。ダム

貯水率が最も少なかったのは 2013 年で 32 パーセントだった。(1月23日付 HT 紙 19 面他)

### ●消防士の防火服に新素材導入

イスタンブール市消防隊の年間出動件数は、2 万 5 千件の消火活動を始め、約 6 万件に上っている。同消防隊は今後、ニューヨーク消防局、ロンドン消防隊も使用している特殊素材を使った防火服を導入することを発表した。宇宙服や、軍服などにも使用されているもので、高温に強く、また普通素材の 2.5 倍の強度を持っている。(1月24日付 HT 紙 22 面他)



(写真は、1月24日付 HT 紙インターネット版より)

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

機関・団体等

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	首相府緊急災害事態対応総局	PKK	クルディスタン労働党
AKP	公正発展党	PYD	シリア民主主義連合党
BDDK	銀行規制監督庁	RTUK	ラジオ・テレビ高等機構
BOT	建設・運営・譲渡方式	SNC	シリア国民評議会
CHP	共和人民党	SPK	証券取引監査院
DHKP/C	革命人民解放党/戦線	TBB	トルコ弁護士協会/トルコ銀行協会
DHMI	国家航空局	THY	ターキッシュ・エアラインズ
HDP	国民民主党	TIKA	トルコ協力発展機構
IDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOKI	トルコ集合住宅開発局
ISO	イスタンブール工業会議所	TPAO	トルコ石油公団
ISID	イラク・レバントのイスラム国	TUBITAK	トルコ科学技術研究機構
ITO	イスタンブール商業会議所	TUIK	トルコ統計庁
KRG	クルディスタン地域政府	TUPRAS	トルコ石油精製会社
MHP	民族主義者行動党	TUSIAD	トルコ産業・実業家協会
MIT	国家情報庁	YOK	トルコ高等教育評議会
MUSIAD	トルコ独立産業者・実業家協会	YSK	選挙高等委員会

引用メディアの略称

略語	正式名称	略語	正式名称
A	Aksam	HDN	Hürriyet Daily News
AA	Anadolu News Agency	HT	Haberturk
AFP	Agence France Presse	IA	Inhlas News Agency
Cumhuriyet	Cumhuriyet	JP	Interpress
D	Dünya	M	Milliyet
DA	Doğan News Agency	P	Posta
DS	Daily Sabah	S	Sabah
H	Hürriyet	V	Vatan

在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail: istanbulweekly@it.mofa.go.jp

WEB: [http://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/index\\_j.html](http://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/index_j.html)

Facebook: <http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu>

- トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。
- 新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。

[istanbulweekly@it.mofa.go.jp](mailto:istanbulweekly@it.mofa.go.jp)

【被害】

イスタンブール邦人被害統計								
2018.1.1～2018.1.25 ※総領事館に訴出があったものを集計								
	窃 盗		詐 欺		ぼったくりバー		高額絨毯購入(相談)	
	今週	通算	今週	通算	今週	通算	今週	通算
2017年		12件		2件		14件		0件
2018年	0件	0件	0件	0件	0件	0件	1件	1件